令和3年度せんだんの里グループホーム 自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール(東乃家)

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I .理	念・安心と安全に基	づく運営					
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた 事業所理念をつくり、管理者と職員は、 その理念を共有して実践につなげている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人理念をもとに、ユニット独自の理念を掲げている。年度ごとに管理者・職員全員で見直しの必要性の検討や、内容の確認を行っている。ユニット内の目に付きやすい場所へ掲示する事で、意識して取り組んでいる。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新型コロナウイルスの影響があり、 交流は難しかったが、町内会に加入 し、情報交換を行うなど繋がりを持っ ている。			
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A.)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、開催方法や委員の意向を都度確認、検討しながら2ヶ月ごとに地域密着運営推進会議を開催している。新型コロナウイルス感染症の流行の状況を見ながら対面での開催を実施出来た回もあり、対面での開催が難しい状況の場合はグループホームでの取り組みを書面で郵送し、確認をしていただいている。			
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り (組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	外部評価結果の改善計画書を提出 したり、必要時には担当者の見解を 確認し協力体制を築くように取り組 んでいる。			
5	身体拘束をしない ケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険 法指定基準における禁止の対象となる 具体的な行為」を正しく理解しており、玄 関の施錠を含めて身体拘束をしないケア に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束しないケア委員会を中心に 開催された内部研修へ参加し、職員 全員が身体拘束しないケアや高齢 者虐待防止への理解を深め、身体 拘束に繋がらないケアを意識できる よう取り組みを行っている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	管理者、職員全員による検討、内部研修等、身体拘束や虐待防止への意識を 深める取り組みを実施していることか ら。

6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連 法について学ぶ機会を持ち、利用者の 自宅や事業所内での虐待が見過ごされ ることがないよう注意を払い、防止に努 めている	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	高齢者虐待防止に関する研修を通して、職員一人ひとりが正しく理解出来るように学んでいる。定期的に実施する高齢者虐待防止自己点検シートや、その都度提出する不適切ケア報告カードを活用した取り組みを行い定期的に振り返りや対応の見直しをしている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	虐待防止に関する取り組みが計画的に 行われている。施設への訪問時、入居 者が穏やかな日々を過ごしていることが 実感できるため。また、定期的に職員一 人ひとりの行動を振り返り、見直しを実 施していることから。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 充分にできている B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	研修へ参加し、制度関係の理解に 努めている。必要時には関係機関と 連携した対応が可能である。		
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、 利用者や家族等の不安や疑問点を尋 ね、十分な説明を行い理解・納得を図っ ている	A.)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約時及び契約内容改定の際には ご利用者のご家族へ説明や文書の 配布を行い、理解と納得を得られる ようにしている。疑問点や不安につ いてはオンラインで実施する説明会 または定期連絡時や、問い合わせ 時にお答えするなど、都度確認・対 応をさせていただいている。		
9	運営に関する利用 者、家族等意見の 反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者 や職員ならびに外部者へ表せる機会を 設け、それらを運営に反映させている	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	意見投書箱を玄関に設置している。 例年はプラン提示や面会時に近況 の報告や要望、意見を伺う事で支援 の見直しを行っている。現在は2週 に1度以上の頻度や随時の近況報 告時などに意見や要望を伺いなが ら、運営に反映させるよう対応してい る。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族への定期連絡や、随時の近況報告時での説明を通して、理解や納得に 努めたり、意見、要望を汲み取り反映する等仕組みがあるため。
10	運営に関する職員 意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員 の意見や提案を聞く機会を設け、反映さ せている	A. 充分にできている B ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ユニット会議や、面談、日常のやり 取りでユニット職員の意見や提案を 聞く機会を設けている。擦り合わせ を行なって、運営に反映出来るよう に取り組んでいる。		
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や 実績、勤務状況を把握し、給与水準、労 働時間、やりがいなど、各自が向上心を 持って働けるよう職場環境・条件の整備 に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	キャリアパス制度を導入しており、職員それぞれの目標を把握して、定期的な面談で達成状況の確認と評価を行っている。また、職員ごとの生活状況や家庭環境に応じた働き方を	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員が目標や向上心を持って働けるよう、目標の把握や面談を行うなど仕組 みを整え、より良い職場となるように取り組んでいるため。

				提案するなど、向上心を持って働けるように、職場環境の改善に努めている。		
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケ(アの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員の能力や経験に応じ内部・外部 研修への参加の機会を設けている。 今年度は内部研修の開催方法を都 度検討しながら勉強の機会を設けて いる。また資格取得の為のサポート として勉強会も行っている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	内部・外部研修参加の機会や、勉強会を行うなど職員を育てる仕組みや、資格取得の支援など意欲向上に繋がる取り組みを行うことが出来ている。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや 勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サ ービスの質を向上させていく取り組みを している	A. 充分にできている B. まぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	宮城県グループホーム協議会へ加入し、例年は職員研修会・講演会等への参加や、他事業所との交換研修を行ない意見交換・交流を図っていたが、今年度はオンラインでの研修参加などでの活動となっている。		
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりの出来る事、やりたい事、 得意な事、望む生活等に目を向け て、一緒に活動(食器拭き、洗濯物 たたみなど)を行いながら、関係作り に取り組んでいる。		
15	馴染みの人や場と の関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの 人や場所との関係が途切れないよう、支 援に努めている	A. 充分にできている B)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	オンライン面会や、親族や知り合いが来られた時は、窓越し面会や電話を使い、交流を持ち関係性の継続を行っている。新型コロナウイルス感染症拡大の状況を見ながら、直接の面会を行っていただいていた期間もあり、ご一緒の時間を過ごすことで交流や関係性が継続できるような場の提供に配慮した対応を心掛けている。		
II. 3	その人らしい暮らしを	続けるためのケアマネジメント				
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、 一日の過ごし方の希望や意向の把握に努 めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	アセスメント表を使用して、入居前の 生活歴や過去の生活環境等を確認 している。入居後は、ご本人やご家 族から得た情報を職員間で共有し、 把握とケアへの反映に努めている。		

17	チームでつくる介 護計画とモニタリン グ	本人がより良く暮らすための課題とケアの あり方について、本人、家族、必要な関係 者と話し合い、それぞれの意見やアイディ アを反映し、現状に即した介護計画を作成 している	A.充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月モニタリングを行ない、課題とケアの確認をしている。ご本人、ご家族の意向を確認し3ヶ月ごとに介護計画を作成している。主治医と訪問看護師、管理栄養士、歯科衛生士など専門職から確認した指示内容の記載もしている。また、状態変化などに合わせて課題や検討が必要な事項があればその都度話合いを行いケアの細部の見直しを図っている。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや 工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を 共有しながら実践や介護計画の見直しに 活かしている		日々の様子を個別に介護ソフト、その他ツールを用いて記録を行い、気付きや変化を職員間で共有している。日々のケアや毎月のカンファレンスの際、介護計画の見直しに活かしている。
19	一人ひとりを支え るための事業所の 多機能化	本人や家族の状況、その時々に生まれる ニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能 化に取り組んでいる	A. 充分にできている B. まぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	グループホーム内だけでは無く、併 設している施設とも連携を図り、サー ビス提供を行っている。コロナ禍の 状況により、敷地内やユニット内で の活動が主となり、理美容、医療に 関する支援なども訪問が中心となり ながら、様々な方法で支援を継続し ている。
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら 安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよ う支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	例年では地域のボランティア団体が 主催する会に出席、ボランティアの 受け入れ、せんだんの里内の行事 に参加する等、地域資源を活用しな がら、本人の能力を発揮できるよう よう支援している。
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人やご家族の希望するかかり つけ医に受診できるよう配慮してい る。医療機関とのやり取りの際に は、ご家族、本人の意向も確認しな がら対応している。また、職員が受 診に同行した場合は、当日中に家族 へ受診結果の連絡を行なっている。

22	入退院時の医療機 関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できる ように、また、できるだけ早期に退院できる ように、病院関係者との情報交換や相談に 努めている。あるいは、そうした場合に備え て病院関係者との関係づくりを行っている。	B. ほぼできている	入院時は医療機関の求める情報を「サマリー」等で提供、情報の共有をしている。 面会の際や、退院前の実態調査では状態の把握に努め、退院後も継続的な支援を行なえるようにしている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新型コロナウイルス感染症の影響で直接の訪問等実態調査などの頻度は例 年通り行うことが難しい点もあるが、方 法を変えるなど工夫を図り、かかりつけ 医や医療機関との連携はしっかりと行 われていることが確認できる。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A.)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時やそれ以降にも意向確認を 行い、終末期にはご本人の希望に 沿った支援を行えるようケア体制を 整えている。終末期における看取り 指針を作成し、事業所で行なえる医 療体制を含めて、ご本人やご家族に 説明を行っている。意向確認と同意 を得て、看取り支援を行っている。		A.充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	可能な限り終末期に向けての利用者や 家族の意向を確認しながら、説明等も 行いご利用者や家族の意向に添った終 末期ケアが行われていることが確認で きるため。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全 ての職員は応急手当や初期対応の訓練を 定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	急変時や事故発生時の為に手順に 沿ったフローチャート等を作成してお り、それに基づいた対応が出来るよ うに確認をしている。新人職員を中 心に救急救命訓練等の研修に参加 をしたり、リスクの高いケースに備え ての対応の再確認を行うなど、応急 手当や初期対応について知識を学 んでいる。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を 問わず利用者が避難できる方法を全職員 が身につけるとともに、地域との協力体制 を築いている	A.)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的に防災訓練を行い、昼夜を問わず、入居者様を安全に避難・誘導するために必要な知識や動きを身につけられるように取り組んでいる。また、災害時の食料や物品等についても担当が中心となり確認し、有事に迅速な対応が取れるよう備えている。	夜勤者が 1 名ということもあり、夜間帯の災害時の対応に直面した場合にマニュアルやフローチャートの通りに動けるかが重要になってくるため、今後も訓練の継続が必要。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的な消防・防災に関する訓練の実施や災害への備え、フローチャートの確認、物品や設備の点検等が実施されている状況のため。

Ⅲ. ₹	その人らしい暮らしを	続けるための日々の支援				
26	一人ひとりの尊重 とプライバシーの 確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライ バシーを損ねない言葉かけや対応をして いる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりの情報や日々の関わり、 ご家族からの情報も含め、ご利用者 の事を知り、人格を尊重して、その 方に合わせた声掛けや対応を行っ ている。生活面ではプライバシーを 損ねる事の無いように配慮してケア を行っている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	人格を尊重した声掛けや対応が行われているため。言葉の内容や声のトーンや、伝える場面にも配慮している。やり取りを行う中で確認したご利用者の表情からも様子が確認できるため。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A.)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	体調や状態に合わせて、一人ひとり が過ごしやすいペースで生活出来る ように取り組んでいる。希望や思い を伺い、実現できるよう取り組んでお り、カンファレンスなどで定期的に確 認をしている。		
28	食事を楽しむこと のできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひ とりの好みや力を活かしながら、利用者 と職員が一緒に準備や食事、片付けをし ている	A) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	おやつ作りや手作りの食事などを取り入れながら、食べたい物を取り入れている。食事作りの作業や準備をご利用者の役割としてご一緒に行うなど、食事の楽しみを持っていただけるよう配慮している。	A)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご利用者に食に関する準備や調理の 作業に参加する機会を提供することに より、自己有用感が高まると共に、より 主体的に食事の時間を楽しむことが出 来る配慮が見える取り組みを行ってい ることが確認できるため。
29	栄養摂取や水分確 保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日 を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりの状態に合わせ食事を提供している。また、カロリーが取れていない際や食事のバランスが偏っていると思われる場合には、管理栄養士に補助食品などを相談している。 1日の食事量、水分摂取量の把握に努めている。		
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎 食後、一人ひとりの口腔状態や本人の 力に応じた口腔ケアをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	月に1回以上、歯科衛生士からの 口腔ケアの実施や口腔内の状態確 認を行い、その都度アドバイスを受 けている。食後の口腔ケアの実施 や、夜間は義歯洗浄剤で浸け置きを して清潔保持に努めている。必要時 は歯科往診の対応を行なっている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	歯科衛生士も介入し、ご利用者一人ひとりの口腔に関する状態を把握し、ご利用者に合った声掛けや補助など介護職員による日常的な口腔ケアの実施が出来ていると思われるため。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一 人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を 活かして、トイレでの排泄や排泄の自立	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	必要に応じて排尿回数や量、間隔等をチェックして、一人ひとり排泄パターンの把握に努めている。トイレ誘	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	画一的な対応ではなく、ご利用者一人 ひとりの排泄パターンの把握を行うこと で、それぞれの状態や習慣に合った支 援方法を行っているため。

		にむけた支援、便秘の予防等、個々に応 じた予防に取り組んでいる		導、声掛け、体調管理などの支援に 活かしている。			
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせ て入浴を楽しめるように、職員の都合で 曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々 にそった支援をしている	A)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりに意向の確認をしながら 入浴をして頂いている。温度、入浴 の仕方など、体調や希望に合わせ、 気持ち良く安全に入浴を楽しんでい ただけるように対応している。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A.充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日中に散歩や体操など活動の機会を設けており、気持ちの良い睡眠や休息が取れるよう、生活リズムを整えている。掛け物や空調など居室の環境整備も行なっている。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に 努めている	A)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	服薬管理ファイルを作成して、処方 箋や薬の効能を確認できるようにま とめている。処方の変更・中止など があった時は主治医、薬剤師からの 説明を受け、注意点などを職員が把 握し経過の観察を行っている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ファイルの使用などによりご利用者の服薬に関する情報を管理し、服薬による影響も観察を行える状況となっている。 また、それらがケアや医療に関するやり取りの際に活用されていると思われる ため。
35	役割、楽しみごと の支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の役割や、習慣、得意なことや 好きなことを知り、日常生活に取り入 れている。家事活動以外に近くへの 散歩、歌、会話なども含めて日常を 楽しんでいただき、気分転換を図れ るよう取り組んでいる。			
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍による外出制限などもある 中ではあるが、敷地内の散歩や、庭 先での活動、家の中での余暇活動 などで生活を楽しみのあるものとし て過ごしていただけるよう配慮してい る。	外出支援が難しいながらも施設内や敷地など戸外へ出掛けたり、屋内での活動を増やすなど苦慮しながら工夫を図っている。地域の行事や交流の機会も控えている状況のため、対応を継続しつつ、交流も行える状況となるまで情報交換していく。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さ を理解しており、一人ひとりの希望やカ に応じて、お金を所持したり使えるように 支援している	A. 充分にできている B) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	外出しての買い物は難しい状況では あるが、個人の能力に合わせて金 銭の所持や買い物の支援を行って いる。希望の買い物が出来るように 要望を伺うなど対応を行っている。			

38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をし	A)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	希望があれば電話や手紙が出来る ように、ご家族にも協力を頂いて対 応をしている。電話を頂いた際は取 り次ぎを行ない、楽しめるように環境 を整えている。			
39	居心地のよい共用 空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 充分にできている B.はぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	安全面に考慮しながら、共有スペースに季節の装飾を行ったり、花を飾って季節感を取り入れている。照明や、テレビの音、空調など配慮して気持ち良く過ごせるように対応をしている。自宅で使用していた家具やご家族の写真など、馴染みのある物についても、ご家族の協力をいただきながら配置し、居心地の良い環境作りに取り組んでいる。随時ご本人、ご家族と相談をしながら、必要なものを揃えるようにしている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりの希望や能力に応じて、自立した生活を長く続けられるよう環境を整える配慮や、共有の空間についても掲示物などの工夫も含め季節感を感じられ、張り合いのある暮らしができるように支援を行ったり、気持ちよく生活できる環境を整えているため。
IV. Z	■ ■ 人暮らしの状況把	- 握・確認項目(利用者一人ひとりの確認	項目)		V		
40		本人は、自分の思い、願い、日々の 暮らし方の意向に沿った暮らしができ ている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご利用者が望む生活や日々希望されていることを、普段の関わりの中で知る事で、一人ひとりに合わせた 提案を行ない自己決定できる場面を 作るように取り組んでいる。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、 暮らしの習慣、特徴など様々な情報 をもとに、ケア・支援を受けることがで きている) B. ほぼできている	アセスメントで事前情報を集めたり、 ご本人、ご家族からの情報や会話の 中から把握するように努めている。			
42	本人主体の暮らし	本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況 をもとに、ケア・支援を受けることができている	\smile	24 時間対応の訪問看護師と連携している。主治医の月 2 回の往診、看護師の週 1 回の訪問や日常の中での体調変化など、その都度、訪問看護師に報告・相談し、主治医に報告している。適切な医療を受けられるよう対応している。また、ご本人の日々の変化や状況を把握し、状態に合わせて生活を継続できるよう、環境や安全面の対応について検討している。		A. 充分にできている B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	訪問看護師、医師の定期的な対応や緊急時の体制などで医療面への不安も少なく、怪我や事故にならないような環境や、馴染みの物を配置する環境づくりが行われていることが分かるため。

43		本人は、自分のペースで、これまで の暮らしの習慣にあった生活ができ ている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人のこれまでの生活習慣や趣味嗜好などの情報を基に、毎月のカンファレンスで、日々の暮らし方について検討をして、可能な限り実行している。			
44	生活の継続性	本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等) に持つことができている	A 充分にできている B. ほぽできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自宅で使用していた家具等を持って きて頂き、可能な限り配置を再現し ている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族との連携も図りなじみの物を持ち 込むことで、入居前の環境に近くなるよう配慮されている。ご本人の愛着がある ものに囲まれて生活をすることで、安心 して日々を過ごすことが出来ている、また、可能な限りご利用者の意を介してい る。
45		本人は、自分の意向、希望によって、 戸外に出かけることや、催(祭)事に 参加することができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C.あまりできていない D. ほとんどできていない	新型コロナウイルス感染症の影響で、人流の多い場所等への外出は控えている状況ではあるが、ご利用者の希望に合わせてせんだんの里敷地内の散歩や、併設する特別養護老人ホーム内の共有スペースの活用など身近な外出などを行うよう努めた。	人の往来のある場所などや以前行えていた場所への外出は難しい中ではあるが、家ごとに活動を増やすなど対応を行っているため、継続することが必要。		
46		本人は、自分ができること・できない こと、わかること・わからないことを踏 まえた、役割や、楽しみごとを行うこ とができている	A. 充分にできている B. まばできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人が出来ることは、可能な限り 行って頂いている。事例検討等を行 ないながら支援できるように努めて いる。			
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会 話のひと時や、活動場面を日々の暮 らしの中で得ることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	会話や活動等、ご本人の能力の発揮や生活の張りを得られるよう、事前の情報や入居後に得た情報を基に個々に合わせた活動の場面の提供や、共有スペースでの関わり方、席なども検討し、環境づくりに努めていた。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新型コロナウイルス感染症の影響により外出等制限や十分に行えない中ではあるものの、一人ひとりの能力や状態に合った活動支援や役割を持った生活を送れるよう配慮されているため。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の 人々と関わったり、交流することがで きている	A. 充分にできている B)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新型コロナウイルス感染症の影響により、直接近隣や地域の方との交流を行うことは難しいものの、せんだんの里の職員や他棟のご利用者同士で挨拶をかわすことや、理美容、医療、他専門職など様々な人々との交流を行うことは出来ている。また、感	様々な交流を行うことが難しい中で最新 の注意を払いながら継続する工夫を図 っている。現在の対応を継続しつつ、状 況をみながら、交流を拡げられる方法を 検討する必要がある。		

				染者の少ない時期などには、お盆供 養などの行事への参加などで他者と の交流も行えている。		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員 や地域の人々と親しみ、安心の 日々、よりよい日々をおくることがで きている	A) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人と職員との信頼関係づくりに 努めている。また、安心して過ごして 頂けるように努めている。職員との 関り、交流を深める中で、グループ ホームで暮らすことに安心していた だけるよう関わりを持っている。ご家 族や身近な関係の人との関係性の 継続などに配慮し、グループホーム での生活をより良い日々に出来るよ う努めている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新型コロナウイルス感染症の影響により外部の方の出入りや外出などには制限がある状況だが、職員との関係性や、周囲の人との関わりの機会を多く設けるなど穏やかな生活が出来るよう対応していることが、ご利用者の表情や生活の様子からも確認できる。